

特定非営利活動法人日本ネイリスト協会

第17回（2022年度）通常総会

仲宗根幸子 理事長 開会の挨拶

本日は、第17回通常総会に、ご来場いただき、またオンラインでは130名以上の皆様にご出席いただきまして、ご多忙のところ誠にありがとうございます。

2019年の年末、彼の国で発生した新型コロナウイルスは、あっという間に日本国中に広がり、それが長期に及んで今日まで影響を与え続けておりますことで、会員の皆様も本当にご苦労されていることと思います。

協会も通常の活動が出来ないままになっておりましたので、会員の皆様には大変ご不満もあったことと察しておりますが、それにも関わらず、コロナ前以上のご支援とご協力を賜っておりますことを、心より感謝申し上げます。

感染症について、初めの頃は私達も良く分からず、また専門家からも十分な情報が得られない状況の中、ただただ感染力の強さを恐れて、イベントを中止や延期し、検定試験も延期しました。その様な中で一番心配だったのは、会員様の心が協会から離れてしまうのではないかということでした。

ところが、感染が拡大していく状況であっても、法人会員様の入会や認定校の申請を多数いただくことが出来たことを大変ありがたく思うとともに、協会は産業の発展に寄与することはもちろん、会員の皆様の心の拠り所にならなければならないということを、改めて強く感じています。

また、このコロナ禍の中で大変残念なこともございました。2020年10月17日、この協会に多大なる功績を与えていただいた瀧川最高顧問理事がご逝去されたことです。私たちにとっては大変大きな衝撃で、いまだにその心の傷みから立ち直れずにいるところです。理事長在籍11年の間に、協会の組織と骨子をより強固なものにしてくださり、私達の前に、未来に正しく延びていく線路を作ってくくださったものと、心より感謝しております。今日もきっと、この会場のどこかで、あの優しい笑顔で見守って下さっているものと思っています。

また、感染症は、一方で悪いことだけではなく、人として生き抜く力を再認識させてくれました。人間が生きていくには“三密”でなくてはならないということです。相手のことを理解し、感情を共有し、そして人と人とが支え合っていく“繋がる力”です。それ再認識させてくれたということがあります。

私達一人一人が、この協会を支えているのは、その人間の力であり、繋がる力であると考えております。これからの世の中は、一人で生きていくことは大変難しくなっています。やはり繋がる力こそが、皆さんのお仕事をも繁栄させるものではないかと思えます。

瀧川前理事長は、常々この様におっしゃっていました。「産業を繁栄させるためには安全で公正でなければ信頼されない。そのためには目の前の利益よりもコンプライアンスを優先するべきだ」と。その信念を私達役員一同、心に刻んでいます。

これからも協会は、会員の皆様の心に沿った運営で、力強く進んで参りたいと思えます。

本日は何卒よろしくご挨拶申し上げます。